

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【特別の教科 道徳】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 道徳科の目標の達成及び教材の構成・配列等

(観点1) 学習指導要領に示された道徳科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 例えば、低学年では「親切、思いやり」中学年では「規則の尊重」高学年では「国際理解、国際親善」などに関する教材を複数配置し、内容項目の関連を図りながら発達の段階に応じて系統的に指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 「きづき」と「まなび」の二冊で構成され、いじめの問題に向き合う教材の主軸となる「公正、公平、社会正義」を全学年に配置するとともに、低中学年に「個性の伸長」と「自然愛護」に関する教材を複数配置し、児童の道徳性が養われるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 中高学年に「国や郷土を愛する態度」に関する教材を4つ設け、他教科や特別活動との関連を考慮した教材配列となっていて、それぞれの連携を図りやすい構成・配列の工夫が見られる。
38 光村図書出版	(1) 例えば、いじめ問題や環境、国際理解、情報教育、福祉・共生などに関する教材を連続して複数配置し、社会情勢や日常生活との関連を図ることで、児童が実感的に学べるような構成・配列の工夫が見られる。
116 日本文教出版	(1) 例えば、年度前半に、集団生活の充実やよりよい人間関係の形成、後半には、学習の深化、発展を意識した教材を配置し、伝統的行事や学校行事、児童の生活体験と関連を図った指導ができるような構成・配列の工夫が見られる。
208 光文書院	(1) 全学年を通して生命尊重を配置するとともに、低学年では自分自身、中学年では人や集団との関わり、高学年では相互理解やよりよい生き方に関連する教材について、重点化を図りながら複数時間配置し、発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
224 学研教育みらい	(1) 例えば、5学年では、「生命の尊さ」についての教材を扱う際に、「友情、信頼」などの内容項目に関連する教材を連続的に複数配置することで、関連性を重視しながら、学習効果を高められるような構成・配列の工夫が見られる。
232 廣済堂あかつき	(1) 全学年共通の重点項目を設け、「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」の内容項目に関する教材を一部は2時間連続で配置し、指導の重点化を図ることができるような構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 内容や指導の充実については、例えば、3年生以上には「問題を見つけて考える」や「考えるステップ」を掲載するなど、教材の冒頭で視点を示し問題を焦点化させたり、話合いの手引きとして活用させたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 対話やゲーム的要素を取り入れた「活動型教材」を設定するなど、様々な活動を行う中で積極的に議論することを促したり、児童の多様な考えを引き出させるようにしたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 読み物教材の「きづき」には、読み物とコラムのみを掲載するなど、児童自ら問題に気付かせたり、児童の実態や経験に合わせて弾力的に学習過程を構想したりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習教材の「まなび」には、まとまりごとのコラムや自分や友達の考えの記述欄を設けるなど、自分の考えをもち、互いの意見を交流する場面で活用することで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) キャラクターの吹き出しによる授業の導入や「やってみよう」を設定するなど、児童自身に問題に気付かせ、自分なりの問いをもたせたり実際の行動と結び付けながら価値を学ばせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材の後に様々な切り口から問う発問やキャラクターの発言を掲載するなど、児童の考えを深めさせたり、多様な考えを引き出すきっかけづくりに活用させたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 内容や指導の充実については、問題解決的な学習や考えを深める体験的な学習を意識した教材を用いるなど、身近な設定で判断に迷う場面を取り上げたり、役割演技を全学年に位置付けたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 複数の状況を取り入れた教材や考えを様々な切り口から問う発問を掲載するなど、児童に多様な価値観で話し合わせたり、価値観の認め合いや磨き合いを促す学習を展開したりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>

116 日本文教出版	<p>(1) 学び方の基本を理解させるための「学習の手引き」や教材への関心をもたせるための発問を掲載するなど、教材への見通しをもたせたり、問題意識を高めさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 心の成長を記録する別冊「道徳ノート」や教材と関連した内容を取り上げた「心のベンチ」を設定するなど、自分の考えを広げさせたり、多様な価値観に触れさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
208 光文書院	<p>(1) 冒頭の問いの設定や教材下段に児童の思考に寄り添う投げかけを配置して、自分のこととして考えさせたり、「どうして」「なぜ」と問い続けさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材下段の投げかけや「まとめる」「広げる」学習の設定により、考えを深め、広げさせながら道徳的価値のよさや意義、多様さを理解させたり、日常生活で生かすことや調べ学習を促したりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
224 学研教育みらい	<p>(1) 家庭と連携して行う学習活動や教材と関連させた体験的な活動を設定するなど、教材を学習した後に学びをつなげさせたり、広げさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 重点テーマの「いのち」と「生き方」を複数時間扱った後に考えたことを書かせるなど、児童が実感の伴った考えを交流したり対話をもとに自己との関わりを問い直させたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
232 廣済堂あかつき	<p>(1) 別冊ノートに内容項目の解説や自分を見つめさせる問いかけ及び学習の記録を掲載するなど、価値理解を深めさせたり、自分のこととして考えさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材後の「学習の道すじ」の掲載や別冊の話合い活動の記録欄の設定など、多様な考えに触れさせることができる問いかけをしたり、他者と交流する機会をもたせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に、これから1年間で学ぶことや道徳学習の進め方・学習活動の紹介・話し合い活動のイメージをつかませる場面を設けることで、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、巻末に「学習のまとめ」を設けることで、年3回にわたって段階的に自分の成長を感じることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材のタイトルに4つの視点を表すイメージのマークや色分けをし、学習内容を捉えやすくしたテーマを設けることで、見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳の学習を始めよう」を設けることで、自分の心を見つめ直す学習の流れが視覚的に理解できるような工夫がなされている。また、別冊「まなび」に内容項目ごとの振り返りを設けることで、自分や友達の考えの記録を残すことが可能となり学習をまとめ、深い学びにつなぐことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、別冊「まなび」で児童や友達の考えを記入する欄を設けている。また、複数時間の学習をつなぐことで、過去の自分との対話を通して、主体的・対話的な学びができるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に、「〇年生の道徳の学習が始まるよ」を設けることで、課題意識をもって学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、巻末に教材ごとに振り返りのページを設けることで、児童が1年間の心の成長を感じたり、次の学年に進級したときになりたい自分を想定して目標を立てたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、「道徳ではこんな学習をするよ」を設け、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」において、様々な視点から考えを深めたり広げたりしながら、主体的に学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳の時間は」を設け、書く、読む、演じる、話し合う学習活動で、どのように考えればよいか、児童の心のつぶやきを例示するなどの工夫がなされている。また、教科書全体を人との関係、広い視野、生き方と区切りその区切りごとに、「学びの記録」を設けることで、発達の段階に合わせた振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、キャラクターによって教材冒頭部分で学びに見通しをもたせる問いかけをし、終末部分で発展的な学習へつなぐ呼びかけをすることで、児童の円滑な思考や日常生活の振り返りに結びつくような工夫が見られる。</p>

116 日本文教出版	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳のとびら」や「道徳の学び方」を設けることで、1年間の学習の全体像、系統性が一目で分かったり、発達段階に応じた学びに見通しをもったりすることができる工夫がなされている。また、別冊の「道徳ノート」を設けることで、教材ごとに書く活動を通して思考を深めたり自己評価をしたりして学びを積み重ねられるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材の文頭に主な登場人物の紹介や教材につなぐ一文を設けることで、内容をイメージしながら学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p>
208 光文書院	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に、道徳の時間の意義や1時間の流れ・生活場面への広がり・教科書の使い方の具体例を設けることで、見通しをもって主体的、対話的に学習に取り組むための工夫がなされている。また、巻末に「学びの足あと」を設けることで、教材ごとに自分の学びを振り返り、自己の良さや成長を実感したり、新たな課題や目標を見つけたりできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、役割ごとにキャラクターを設定し、児童の思考に寄り添いながら問いかけることで、多様な感じ方や考え方を実感できるようにし、自分の考えを深めたり広げたりすることができるような工夫が見られる。</p>
224 学研教育みらい	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に、道徳学習の進め方や自分を見つめるページを設けることで、見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、巻末に1年間の学びを振り返る「心の宝物」というページを設けることで、1年間の自分の心の成長を感じるとともにこれからの生き方につなげることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材に「わたしのこと」「あなたとわたし」「社会とわたし」「命や自然とわたし」の4つの視点を色分けした見出しを設けることで、学びの全体像をつかんで学習することができるような工夫が見られる。</p>
232 廣済堂あかつき	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳の時間はこんな時間」を設けることで、見通しをもって学ぶことができるような工夫がなされている。また、別冊巻末に折り込みとして保護者や教師に見せる際の「心のしおり」を設けることで、内容項目ごとに学習の振り返りができるとともに、他者からの評価により、自分を見つめ直すことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材ごとに学びの手がかりとなる「考えよう話し合おう」を設けることで、学習の見通しをもって主体的に考えたり、積極的に話し合いを行ったりすることができるような深い学びを促す工夫が見られる。</p>

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) ねらいとする道徳的価値を主体的に自分との関わりで考え、生活の中での実践につなげていくように、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、各教材末に「考えよう」や「考えるステップ」を示すことで、学年の発達段階に応じた言語活動を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、巻末の「つながる・広がる」での写真や資料を活用させることで、他教科の調べ学習やその後の生活にも生かすことができるような工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、二冊の教科書に分冊し、教材文と発問等を分けたことで、児童が先入観なく教材文に向き合えたり、授業の導入などで活用できる「心のパンフレット」を掲載したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、「自分の考え」と「友達の考え」の書き込み欄を配置したり、授業だけで終わることなくこれからにつなげる振り返り欄を設けたりすることで、他者との対話を通して学びを深める工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、読み物資料で役割演技を取り入れたり、同年代の主人公を設定した教材を扱ったりすることで、児童に、自分自身の事として深く考えさせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、モラルスキルトレーニングや先人・偉人に関する教材を取り入れたり、第1学年の教科書巻末には礼儀やマナーの資料を掲載したりすることで、自己の生き方について考えを深められる工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、全学年を通して教材末に学習の手引き「考えよう・話し合おう」を設けることで、児童が互いの考えを大切にしながら、伝え合い、議論できる楽しさを味わえるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、教材末の学習の手引き「つなげよう」を設けることで、道徳の時間だけで学びが終わらないよう他教科や日常生活につなぐことができるような工夫が見られる。</p>

116 日本文教出版	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、全学年の教科書の冒頭に「学習の手引き」を示すことで、議論を活発に展開し、ねらいとする道徳的価値を深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、教材のまとまりごとに「心のベンチ」を配置することで、他の教育活動とも関連付けてねらいとする道徳的価値を多面的・多角的に考えられるような工夫が見られる。</p>
208 光文書院	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えるさせために、導入での問いをもたせる活動や教材内でのキャラクターによる問いかけを設定することで、児童が常に問題意識をもちながら主体的に問題について考えるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、挨拶や言葉遣いなどのよさや難しさを体験する活動を示したり、各教材末に広げる活動を提示したりすることで、道徳での学びを家庭・地域での活動に実際につないでいくための工夫が見られる。</p>
224 学研教育みらい	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、教材末の「考えよう」で、他者と対話し、その対話をもとに自己との関わりを問い直す活動を取り入れることで、より主体的な学習を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、特設ページで「考えを深める」「体験的な学習活動で考える」「自分のよりよい生き方につなげる」「視野を広げる」の4種類の学び方を提示することで、ねらいとする道徳的価値を多面的・多角的に考えさせる工夫が見られる。</p>
232 廣済堂あかつき	<p>(1) 主体的に自分との関わりで考えさせるために、授業中に話合いのきっかけとして活用できる問いや児童が自我関与できる問いを複数配することで、教材を考えていく道筋を分かりやすく示す工夫が見られる。</p> <p>(2) 生活の中での実践につなげるために、役割演技や動作化などの体験的な学習を促す教材を掲載したり、教材末に学習を広げるための内容として「活動しよう」を配したりすることで、道徳での学びを生活とつなぐための工夫が見られる。</p>

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、指導内容と指導時期を考慮して児童の生活実態や体験活動に合わせた教材を配列することで、効果的な学習ができるような工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、年間を通して、いじめをなくすことや周りの人との関わり方に関連する教材を計画的に配列することで、児童に繰り返し、様々な側面から学びを深めさせる工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、年間35時間のうち30時間の教材に全ての内容項目を配置し、残り5時間(1年生は4時間)分には補充教材を設けることで、各学校の実態に応じた重点化に対応できる工夫が見られる。
38 光村図書出版	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、題材と日常生活にある課題を扱ったコラムを組み合わせた「ユニット」を設け、連続して同じ内容項目に触れ合えるようにすることで、児童が自己の生き方を考えられるような工夫が見られる。
116 日本文教出版	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、宮崎県の地域教材として第6学年に「創志君と子牛」を配置することで、児童が教材を身近に感じ、興味をもって学習に取り組むことができるような工夫が見られる。
208 光文書院	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、年間35時間分に加え、入れ替え可能な教材を5～6時間分多く掲載したり、付属のデジタル教材に第6学年「延岡ー城山の鐘」を配置したりすることで、各学校の重点化に対応できる工夫が見られる。
224 学研教育みらい	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を取り入れたり、宮崎県のお雑煮の資料を掲載したりすることで、家庭生活や地域生活への理解を深めることができる工夫が見られる。
232 廣済堂あかつき	(1) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、第4学年の別冊に宮崎県の「真名井の滝」を取り扱った教材を配置したり、児童の実態や授業の展開に応じて別冊ノートの内容を活用したりすることで、児童の実態に柔軟に対応できる工夫が見られる。